

15分で習得！新聞検索講習会

時勢を読み解く 第一級一次資料

日時：12月1日(月)から12月5日(金)

各日 16:30から16:45

場所：吉田南総合図書館

1F 調査・相談カウンター前

予約：事前申込(メール)優先

当日参加も可

メールの件名を「新聞検索講習会」とし、氏名、学生証番号(または職員番号)、希望の日時を明記のうえ、下記アドレスまで送信してください。eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

論文やレポートに大活躍！

みなさん、毎日、毎朝、新聞を読んでいらっしゃいますか？新聞を利用する目的にもいろいろあると思いますが、「新(新しく)」「聞(聞く)」と表記するだけあって、まず思い浮かぶのは「新しい情報」を手に入れるため、でしょうか。新しい情報を毎日毎日提供してくれる新聞ですが、大学での学習や研究、もっといってレポートや論文にはどんなふうに活かせるのでしょうか。

今回は、論文や研究で新聞をどのように使うことができるのかをご紹介します。新聞の種類と形態、その特色、京大生が使える便利なデータベースの使い方のコツ、そして役立つサイトをご紹介します。15分で新聞の使い方を習得してください。

実際に新聞について図書館で調査や相談を受けたことがある例をご紹介します。明治*年*月に××地方で実際にあったお祭りについての記事が残っていないか/大正初期にK新聞に掲載

されていた小説を手に入れたい/平成*年に日本移植学会が出した見解がSK新聞に掲載していたのをウェブでみたけれど、今はリンク先がない。どうしたら読めるか/蛭川幸雄がイギリスで公演したときのイギリスでの新聞報道が読みたい/月面着陸のときの報道記事を探したい、などなど。

どれもその新聞記事を手に入れることができた例です。どうやって探したのか、それを明かすまえに、新聞にもいろんな種類の媒体、形態があって、それぞれの内容を知ってその特色を活かした使い方ができることをご紹介します。

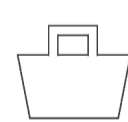
図書館で使える新聞はいわゆる新聞原紙ではありません。小さく縮小してまとめて製本された縮刷版、マイクロ化されて閲覧や印刷ができるマイクロフィルム、記事を電子化したCD-ROMやDVD、さらにウェブで利用できて検索も可能な新聞記事データベースなどいくつかの媒体で…(つづきは講習会で！)



12月 ■=講習会開催日 黒=9-20 青=10-15 赤=休館

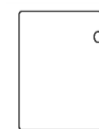
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

参加者には記念品を
プレゼントいたします



ミニトートバッグ

OR



クリアファイル

問合せ先 京都大学吉田南総合図書館：逍遙館

TEL：075-753-6525、6524

MAIL：eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

URL：http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib

TWITTER：@yoshidasouthlib

QRコードはこちら



京都大学で利用できる新聞関連データベースのご紹介

毎索

毎日新聞のオンライン記事データベース。紙面イメージのほか週刊エコノミスト、Mainichi Daily Newsも収録。

ヨミダス歴史館

明治7年の創刊から昭和64年までの読売新聞紙面イメージおよび昭和61年からの読売新聞記事テキストを収録。1989年9月からのThe Japan Newsも利用可。

間蔵II ビジュアル for Libraries

朝日新聞オンライン記事データベース。最新記事もいち早く収録。週刊朝日、AERA、知恵蔵、歴史写真アーカイブ、アサヒグラフなども利用可。

British Newspapers 1600-1900

近世近代のイギリス新聞アーカイブ。地方のみで発行されたローカル紙を含む、約1300の新聞を収録。

LexisNexis Academic

米国を中心に、世界各国のニュース、企業情報、法律情報、医薬情報など、主に英文の全文記事を収録。

